

登録番号 : C0001

1.登録情報 | 2.術前血液学検査 | 3.術前投薬状況 | 4.術前検査 | 5.術中検査・冠動脈手術 | 6.術後インスリン治療 | 7.退院時投薬 | 8.退院時検査 |

インスリン注射	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes		
経口糖尿病薬	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes	薬剤詳細	<input type="checkbox"/> スルフォニルウレア(SU)剤 グリクラブド(グリミクロンなど) グリメビリド(アマリール) グリベンクラミド(オイグルコン、ダオニールなど) アセトヘキサミド(ジメリン) グリクロピラミド(デアメリンS) トライゼミド(トリナーゼ) トルブタミド(チアペース、ヘキストラスチノンなど) グリブソール(グルテアーゼ) クロルプロパミド(アベマイド) <input type="checkbox"/> グリニド(フェニルアラニノ誘導体) ナテグリニド(スター・ス、ファスティック) ミチグリニド(グルファスト) <input type="checkbox"/> ピグアナイド 塩酸プロホルミン(ジペトス、ジペトンG、塩酸プロホルミンなど) 塩酸メトホルミン(グリコラム、メルビン、メデットなど) <input type="checkbox"/> αグルコシターゼ阻害薬 アカルボース(グリコバイ、アカルボース) ポグリボース(ペイシンなど) ミグリトール(セイブル) <input type="checkbox"/> チアブリシン誘導体 - 塩酸ビオクリタゾン(アクツス)
術前24時間以内の利尿薬投与	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes		
術前24時間以内の投与	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes	yesの場合	<input type="checkbox"/> ワーファリン <input type="checkbox"/> t-PA <input type="checkbox"/> ステロイド <input type="checkbox"/> UK <input type="checkbox"/> スタチン <input type="checkbox"/> Digitalis <input type="checkbox"/> ACE Inhibitors <input type="checkbox"/> Beta Blockers <input type="checkbox"/> ARB <input type="checkbox"/> Nitrates(iv) <input type="checkbox"/> Ca Blockers
術前48時間以内の投与	<input type="checkbox"/> ワーファリン以外の抗凝固薬 <input type="checkbox"/> 強心薬		
術前5日以内の投与	<input type="checkbox"/> アスピリン <input type="checkbox"/> アスピリン以外の抗血小板薬		

登録番号 : C0001

1.登録情報 | 2.術前血液学検査 | 3.術前投薬状況 | 4.術前検査 | 5.術中検査・冠動脈手術 | 6.術後インスリン治療 | 7.退院時投薬 | 8.退院時検査 |

心電図所見	<input checked="" type="radio"/> 洞調律 <input type="radio"/> 心房細動 (<input type="radio"/> 発作性 <input type="radio"/> 持続性) <input type="radio"/> 永久ベースメーカー <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 不明
-------	--

登録番号 : C0001

1.登録情報 | 2.術前血液学検査 | 3.術前投薬状況 | 4.術前検査 | 5.術中検査・冠動脈手術 | 6.術後インスリン治療 | 7.退院時投薬 | 8.退院時検査

術中インスリン投与	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes		
術中ステロイド使用	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes	術中ステロイド種類	<input type="text"/>
術中血糖値	術中血糖値測定時点 術中血糖値1 mg/dl <input type="text"/> 術中血糖値2 mg/dl <input type="text"/> 術中血糖値3 mg/dl <input type="text"/> 術中血糖値4 mg/dl <input type="text"/>		
手術開始皮切時に off pump を選択した	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes yesの場合 <input type="radio"/> Complete <input checked="" type="radio"/> Converted Convertedの場合 <input type="radio"/> Exposure/visualization <input type="radio"/> Bleeding <input type="radio"/> Inadequate size and/or diffuse of distal vessel <input type="radio"/> Hemodynamic instability <input type="radio"/> Conduit quality and/or trauma <input type="radio"/> Other		
IMAの使用	<input type="checkbox"/> 左IMA <input type="checkbox"/> 右IMA <input type="checkbox"/> 使用なし		
人工心肺の使用	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes		
PCPS	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> PreOpe <input type="radio"/> IntraOpe <input type="radio"/> PostOpe		
VAD	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> PreOpe <input type="radio"/> IntraOpe <input type="radio"/> PostOpe		
Total Artificial Heart	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> PreOpe <input type="radio"/> IntraOpe <input type="radio"/> PostOpe		

登録番号 : C0001

1.登録情報 | 2.術前血液学検査 | 3.術前投薬状況 | 4.術前検査 | 5.術中検査・冠動脈手術 | 6.術後インスリン治療 | 7.退院時投薬 | 8.退院時検査

食事開始前

術後0日	インスリン投与 <input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes (<input type="radio"/> IV <input type="radio"/> 皮下注)	血糖値	<input type="text"/> mg/dl
術後1日	インスリン投与 <input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes (<input type="radio"/> IV <input type="radio"/> 皮下注)	血糖値	<input type="text"/> mg/dl
術後2日	インスリン投与 <input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes (<input type="radio"/> IV <input type="radio"/> 皮下注)	血糖値	<input type="text"/> mg/dl

食事開始後

	朝食前	昼食前	夕食前	睡前	
食事開始後1日目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	mg/dl
食事開始後2日目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	mg/dl
食事開始後3日目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	mg/dl

術後最初の人工呼吸管理時間	<input type="text"/> 時間 <input type="checkbox"/> 不明
再挿管	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes
	再挿管後の術後人工呼吸管理時間 <input type="text"/> 時間 <input type="checkbox"/> 不明

登録番号 : C0001

1.登録情報 | 2.術前血液学検査 | 3.術前投薬状況 | 4.術前検査 | 5.術中検査・冠動脈手術 | 6.術後インスリン治療 | 7.退院時投薬 | 8.退院時検査 |

経口糖尿病薬	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes	薬剤選択	<input type="checkbox"/> スルフォニルウレア(SU)剤 グリクランド(グリミクロンなど) グリメビド(アマリール) グリベンクラミド(オイグルコノ、タオニールなど) アセトヘキサミド(ジメリノ) グリクロビラミド(デアメリンS) トラザミド(トリナーゼ) トルブタミド(チアベース、ヘキストラスチゾンなど) グリブゾール(グルテアーゼ) クロルプロパミド(アペマイド) <input type="checkbox"/> グリニド(フェニルアラニン誘導体) <input type="checkbox"/> ナテグリニド(スタークス、ファスティック) <input type="checkbox"/> ピグアナイド <input type="checkbox"/> 塩酸ボルミン(ジペトス、ジベトム、塩酸ボルミンなど) <input type="checkbox"/> 塩酸メトボルミン(グリコラノ、メルビン、メテットなど) <input type="checkbox"/> α-グルコンシターゼ阻害薬 <input type="checkbox"/> アカルボース(グルコバイ、アカルボース) <input type="checkbox"/> ボグリボース(ペイシンなど) <input type="checkbox"/> ミグリトール(セイブル) <input type="checkbox"/> チアソリジン誘導体 - 塩酸ビオグリタゾン(アクトス)
インスリン	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes		
利尿剤	<input type="radio"/> No <input checked="" type="radio"/> Yes		
退院時投薬	<input type="checkbox"/> ADP阻害薬(パナルジン、プラビックス) <input type="checkbox"/> ARB <input type="checkbox"/> β阻害薬 <input type="checkbox"/> Cat拮抗薬 <input type="checkbox"/> スタチン <input type="checkbox"/> ワーファリン <input type="checkbox"/> ACE阻害薬 <input type="checkbox"/> 抗不整脈薬		
バイパスグラフトの開存性	<input type="checkbox"/>	不明/未施行	検査方法 <input type="checkbox"/> CAG <input type="checkbox"/> マルチスライスCT

登録番号 : C0001

1.登録情報 | 2.術前血液学検査 | 3.術前投薬状況 | 4.術前検査 | 5.術中検査・冠動脈手術 | 6.術後インスリン治療 | 7.退院時投薬 | 8.退院時検査 |

登録票記載日	<input type="text"/>
HbA1c	<input type="text"/> %
血糖値	<input type="text"/> mg/dl
血清総コレステロール	<input type="text"/> mg/dl
血清中性脂肪	<input type="text"/> mg/dl
血清HDLコレステロール	<input type="text"/> mg/dl
血清LDLコレステロール	<input type="text"/> mg/dl
血清CRP	<input type="text"/> mg/dl
血清尿素窒素	<input type="text"/> mg/dl

イベント

登録番号 : C0001

イベント名 | 詳細その1 | その2 | その3 | その4 | その5 |

イベント種別

急性心筋梗塞(周術期)

急性心筋梗塞(非周術期) その1へ

急性心筋梗塞による死亡

脳卒中

脳卒中による死亡 その2へ

腎合併症

腎合併症による死亡

その他の心血管イベント

その他の心血管イベントによる死亡 その3へ

心血管イベント・感染症以外が原因の死亡

深部胸骨・前壁隔感染

胸骨正中創の表層感染 その4へ

下肢静脈・上腕動脈採取部位感染

血流感染

尿路感染

肺炎 その5へ

感染症に伴う間連死亡

イベント

登録番号 : C0001

イベント名 | 詳細その1 | その2 | その3 | その4 | その5 |

急性心筋梗塞(周術期)

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

術後48時間以内を周術期と定義し、以下の項目の内、2つ以上を満たすもの。

(1) CK-MBがtotal CKの5%以上かつCKが正常上限の3倍以上に上昇している。またはCK-MBが100以上場合。
 (2) 典型的な症状を認める。
 (3) 典型的な心電図変化(12誘導心電図で2つ以上連続する誘導で新たに出現したST-T変化またはQ波)を認める。
 (4) 心エコーで新規かつ24時間以上続く壁運動異常を認める。
 (5) 割検で急性心筋梗塞が診断されている(この場合、上記を全て満たさなくても急性心筋梗塞とする。)

急性心筋梗塞(非周術期)

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

(1) CK-MBがtotal CKの5%以上かつCKが正常上限の2倍以上に上昇している。もしくは迅速トロポニンTまたはH-FABPが陽性。
 (2) 典型的な症状を認める。
 (3) 典型的な心電図変化(12誘導心電図で2つ以上連続する誘導で新たに出現したST-T変化またはQ波)を認める。
 (4) 心エコーで新規かつ24時間以上続く壁運動異常を認める。
 (5) 割検で急性心筋梗塞が診断されている(この場合、上記を全て満たさなくても急性心筋梗塞とする。)

急性心筋梗塞による死亡

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

イベント
登録番号 : C0001

イベント名 | 詳細その1 | その2 | その3 | その4 | その5 |

脇卒中

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

以下の項目を全て満たす脇梗塞、脇出血、クモ膜下出血を脇卒中とする。

(1) 明確な局所神経症候または昏睡が認められ、その神経学的所見が他の原因に起因しない。

(2) 神経症候が24時間以上持続(死亡した場合はこの限りではない)。

(3) CTまたはMRIで確認されたもの。

(4) 割検にて脇卒中が診断されている(この場合、上記を全て満たさなくても脇卒中とする。)

脇卒中による死亡

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

脅合併症

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

以下のいずれかに相当する場合を脅合併症とする。

(1) 術後の血清クレアチニンが術前の2倍以上(20mg/dL以下はイベントとしない)。

(2) 新規に血液透析もしくは腹膜透析を要した場合。

脅合併症による死亡

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

イベント
登録番号 : C0001

イベント名 | 詳細その1 | その2 | その3 | その4 | その5 |

その他の心血管イベント

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

術後タンポナーデ、重篤な不整脈(VT/VF, asystole)、PCIの合併症等

イベント名

その他の心血管イベントによる死亡

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

術後タンポナーデ、重篤な不整脈(VT/VF, asystole)、PCIの合併症等による死亡

イベント名

心血管イベント・感染症以外が原因の死亡

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

心血管イベントと感染症以外による死亡

イベント名

イベント

登録番号 : C0001

イベント名 | 詳細その1 | その2 | その3 | その4 | その5 |

深部胸骨・前綫隔感染

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術30日以内に起こった感染で、深部胸骨・前綫隔(筋層、胸骨、綫隔)に及んでいるもの。
さらに以下の少なくとも1つにあてはまる場合:

- a. 深部胸骨・前綫隔、または創剖を通じて組織や体腔に留置されているドレンから膿性排液がある。
- b. 深部胸骨・前綫隔から無菌的に採取した液体または組織検体から病原体が分離される。
- c. 深部切開創が自然に裂開した場合あるいは培養されておらず、以下の感染の徵候や症状が少なくとも1つある: 発熱(>38°C)、局限した疼痛、局限した圧痛。(培養陰性の場合はこの基準を満たさない。)
- d. 深部胸骨・前綫隔に及ぶ腫瘍または他の感染の証拠が、直接的検索、再手術中、組織病理学的、放射線学的検査によって発見される。
- e. 手術医または主治医による深部胸骨・前綫隔感染の診断。

胸骨正中割の表層感染

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術後30日以内に起こった感染で、切開創の皮膚と皮下組織に達しているが筋層・胸骨に及んでいないもの。
さらに以下の少なくとも1つにあてはまる場合:

- a. 表層切開創から膿性排液がある。
- b. 表層切開創から無菌的に採取した液体または組織から病原体が分離される。
- c. 以下の感染の徵候や症状が少なくとも1つある: 疼痛、圧痛、局限性腫脹、癰瘍、熱感。さらに表層切開創が手術医によって意図的に開放され、培養陽性あるいは培養されなかった場合(培養陰性の場合にはこの基準を満たさない)。
- d. 手術医または主治医による表層切開創感染の診断。

下肢静脈・上腕動脈採取部位感染

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術後30日以内に起こった感染で以下の少なくとも1つにあてはまる場合:

- a. 以下の感染の徵候や症状が少なくとも1つある: 疼痛、圧痛、腫脹、癰瘍、熱感。
- b. 切開創が手術医によって意図的に開放された。もしも(組織の切除や洗浄ドレナージを必要としたもので、培養陽性あるいは培養されなかった場合(培養陰性の場合にはこの基準を満たさない))。
- c. 手術医または主治医による切開創感染の診断。

イベント

登録番号 : C0001

イベント名 | 詳細その1 | その2 | その3 | その4 | その5 |

血流感染

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術後30日以内に起こった感染で以下のaまたはbを満たすもの。

- a. 1回以上の血液培養で病原体が検出され、かつ検出された病原体は他の部位の感染症に関係がない(例: 肺炎)。
- b. 38度を超える発熱、寒栗、低血圧のいずれかが認められる。かつ、一般の皮膚汚染菌(**コアグラーゼ陰性グラム陽性菌、パチルス属、プロピオニ酸菌、ミクロコッカス等**)が異なる機会に採取された2回以上の血液培養で検出される。

尿路感染

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術後30日以内に起こった感染で他の感染症では説明できない38°Cを超える発熱が認められ、かつ以下の条件を1つ以上満たすもの。

- a. 尿定量培養で10⁶/mm³以上の細菌が検出される。
- b. 尿尿(尿沈渣で1視野に10個以上の白血球)が認められる。

肺炎

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術後30日以内に起こった感染で胸部X線写真で新たな、もしくは進行性の浸潤影または異常影の存在に加えて、発熱、白血球数異常、気道の膿性分泌物のうち2項目を満たすもの。人工呼吸器関連肺炎(VAP)では、さらに気管内吸引や気管支肺膿洗浄で採取された検体から10⁴~10⁶(2+)の起炎菌が分離される、または血液や胸水の培養が陽性で、気道の検出菌と一致するもの。

感染症に伴う間接死亡

Yes No 臨床評価委員会へ掲題

手術後30日以内に起こった感染症・敗血症とそれに伴う多臓器不全による死亡

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
土井 潔 夜久 均	糖尿病患者における冠動脈バイパス術の問題点 臓 CT を活かす新しい冠動脈疾診断戦略	平山篤志 小室一成 上田恭敬 小松 誠	心臓 CT を活かす新しい冠動脈疾患診断戦略 こういう症例に活用する	メジカルビューエ	日本	2010	71-73
土井 潔 夜久 均	II 冠動脈外科 冠血行再建術 II 冠動脈外科／虚血性心筋症の手術 私の「左室形成手技」 II 冠動脈外科／虚血性僧帽弁閉鎖不全の手術 私の「手術手技」	川副浩平	図説成人心臓外科 手術を究める II 弁膜症の外科／冠動脈外科	メジカルビューエ	日本	2009	108-125 167-171 184-189
Bermudez C Minakata K Kormos RL	Use of advanced mechanical support in cardiac reoperations complicated by cardiogenic shock	Machiraju VR Schaff HV Svensson LG	Redo Cardiac Surgery in Adults, 2 nd edition	Springer	米国	2011	In-press

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Esaki J Sakaguchi H Marui A Bir SC Arai Y Huang Y Tsubota H Kanaji T Ikeda T <u>Sakata R</u>	Local sustained release of prostaglandin E1 induces neovascularization in murine hindlimb ischemia	Circulation Journal	73	1330-6	2009

Bir SC Esaki J Marui A Yamahara K Tsubota H Ikeda T <u>Sakata R</u>	Angiogenic properties of sustained release platelet-rich plasma: characterization in-vitro and in the ischemic hind limb of the mouse	J Vasc Surg	50	870-879	2009
森島 学 <u>坂田隆造</u>	特殊治療のすすめかた 虚血性僧帽弁閉鎖不全に 対する外科治療の有用性	Medical Practice	26	11	2009
<u>坂田隆造</u>	狭小弁輪に対する大動脈弁 置換術：弁輪拡大を伴う 場合、伴わない場合(手術の tips and pitfalls)AVR FOR SMALL AORTIC NULUS, WITH OR WITHOUT ANNULAR ENLARGEMENT	日本外科学会雑誌	4	215-8	2009
Morishima M Marui A Yanagi S Nomura T T, Nakajima N Hyon SH Ikeda T <u>Sakata R</u>	Sustained release of vancomycin from a new biodegradable glue to prevent methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> graft infection	Interact ardivasc Thorac Surg			2010 [Epub ahead of print]
Muranaka H Marui A Tsukashita M Wang J Nakano J Ikeda T <u>Sakata R</u>	Prolonged unloading preserves myocardial contractility but impairs relaxation in rat heart of dilated cardiomyopathy accompanied by myocardial stiffness and apoptosis	J Thorac Cardiovasc Surg			2010 [Epub ahead of print]
佐藤俊哉	薬剤疫学の 代表的な方法	臨床試験テキストブック・メディカルパブリケーションズ		264-268	2009
Saito N Shimamoto T Takeda T Marui A Kimura T Ikeda T <u>Sakata R</u>	Excimer Laser-assisted Retrieval of Günther Tulip Vena Cava Filters: A Pilot Study in a Canine Model	J Vasc Interv Radiol			2010 [Epub ahead of print]

Okusaka T Kasugai H Shioyama Y Tanaka K Kudo M Saisho H Osaki Y Sata M Fujiyama S Kumada T Sato K Yamamoto S Hinotsu S <u>Sato T</u>	Transarterial chemotherapy alone versus transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma: a randomized phase III trial	Journal of Hepatology	51	1030-36	2009
Furuse J Okusaka T Ohkawa S Nagase M Funakoshi A Boku N Yamao K Yamaguchi K <u>Sato T</u>	A phase II study of uracil-tegafur plus doxorubicin and prognostic factors in patients with unresectable biliary tract cancer	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	65	113-120	2009
Shindo Y Sato S Maruyama E Ohashi T Ogawa M Hashimoto N Imaizumi K Hasegawa Y <u>Sato T</u>	Health-care-associated pneumonia among hospitalized patients in a Japanese community hospital	Chest	135	633-540	2009
Inoue T Fujita T Kishimoto H Makino T Nakamura T Nakamura T <u>Sato T</u> Yamasaki K	Randomized controlled study on the prevention of osteoporotic fractures (OF Study): A phase IV clinical study of 15-mg menatetrenone capsules	Journal of Bone and Mineral Metabolism	27	66-75	2009
Noma H Matsui S Omori T <u>Sato T</u>	Bayesian ranking and selection methods using hierarchical mixture models in microarray studies	Biostatistics	11	281-289	2010

Takeda K Hida T <u>Sato T</u> Ando M Seto T Satouchi M Ichinose Y Katakami N Yamamoto N Kudoh S Sasaki J Matsui K Takayama K Kashii T Iwamoto Y Sawa T Okamoto I Kurata T Nakagawa K Fukuoka M	Randomized phase III trial of platinum-doublet chemotherapy followed by gefitinib compared with continued platinum-doublet chemotherapy in Japanese patients with advanced non-small-cell lung cancer: results of a West Japan Thoracic Oncology Group Trial (WJTOG0203)	Journal of Clinical Oncology	28	753-760	2010
<u>Ueshima K</u> Yasuno S Oba K Fujimoto A Ogihara T Saruta T Nakao K	The effects of cardiac complications on cardiovascular events in Japanese high-risk hypertensive patients	Circulation Journal	73	1080-1085	2009
Yasuno S <u>Ueshima K</u> Oba K Fujimoto A Ogihara T Saruta T Nakao K	Clinical significance of left ventricular hypertrophy and changes in left ventricular mass in high-risk hypertensive patients: A subanalysis of the CASE-J trial	J Hypertens	27	1705-1712	2009
<u>Ueshima K</u> Yamashina A Usami S Yasuno Y Nishiyama O Yamazaki T Nakao T Nishimura T	Prognostic value of myocardial perfusion SPECT images in combination with the maximal heart rate at exercise testing in Japanese patients with suspected ischemic heart disease: A sub-analysis of J-ACCESS	Ann Nucl Med	23	849-854	2009
山田真輔 千葉 誠 柳本 智 坂本有希子 早瀬智子 近藤敦子 <u>上嶋健治</u> 野木佳男	心臓リハビリテーション実施施設のインターネット上にみられる心臓リハビリテーションに関する情報量の検討	心臓リハビリテーション	14	217-219	2009

上月正博 齋藤宗靖 岩坂壽二 代田浩之 <u>上嶋健治</u> 牧田 茂 安達 仁 横井宏佳 大宮一人 三河内弘 横山広行 後藤葉一	わが国における心臓リハビリテーションの採算性：多施設調査結果	心臓リハビリテーション	14	269-275	2009
後藤葉一 上月正博 <u>上嶋健治</u> 牧田 茂 安達 仁 横井宏佳 大宮一人 三河内弘 横山広行 代田浩之 岩坂壽二 齋藤宗靖	急性心筋梗塞全国実態調査に基づく心臓リハビリテーション 1 セッション当たり参加患者数の検討	心臓リハビリテーション	14	336-344	2009
<u>上嶋健治</u> 平田雅一 保野慎治 中尾一和	CASE-J から見た肥満の重要性を考える	Life Style Medicine	30	1425-1426	2009
<u>上嶋健治</u> 木村玄次郎 今本美幸 中尾一和	慢性腎臓病を合併した脂質異常症患者を対象に、アトルバスタチンが推算糸球体濾過量を指標にした腎機能に及ぼす影響を検討する多施設共同研究実施の意義	Therapeutic research	30	1425-1426	2009
<u>上嶋健治</u> 中尾一和	日本人の大規模臨床試験 CASE-J	日本臨床増刊号		627-631	2009

山科 章 上嶋健治 木村一雄 栗林幸夫 佐久間肇 玉木長良 吉田 清 北川覚也 小菅雅美 陣崎雅弘 近森大志郎 寺岡邦彦 林田晃寛 原田昌樹 吉岡邦浩 吉永恵一郎 渡邊 望	循環器病の診断と治療に関するガイドライン： 2007-2008年度合同研究班報告 冠動脈病変の非侵襲的診断に関するガイドライン	Circulation Journal	73(Suppl III)	1019-1114	2009
<u>種本和雄</u>	心不全に対する外科治療：弁論形成術、左室形成術の現状と将来展望	Medical View Point	31	1	2010
Okamura T Kokubo Y Watanabe M Higashiyama A <u>Miyamoto Y</u> Yoshimasa Y Okayama A	Low-density lipoprotein cholesterol and non-high-density lipoprotein cholesterol and the incidence of cardiovascular disease in an urban Japanese cohort study	The Suita study.Atherosclerosis	203	587-92	2009
<u>Miyamoto Y</u> Morisaki H Kokubo Y Yamanaka I Tomoike H Okayama A Yoshimasa Y Morisaki T	Resistin gene variations are associated with the metabolic syndrome in Japanese men	Obesity Research & Clinical Practice	3	65-74	2009
<u>Miyamoto Y</u> Morisaki H Yamanaka I Kokubo Y Masuzaki H Okayama A Tomoike H Nakao K Okamura T Yoshimasa Y Morisaki T	Association study of 11b-hydroxysteroid dehydrogenase type 1 gene polymorphisms and metabolic syndrome in urban Japanese cohort	Diabetes Research and Clinical Practice	85	132-138	2009

Okamura T Kokubo Y Watanabe M Higashiyama A Ono Y <u>Miyamoto Y</u> Yoshimasa Y Okayama A	Triglycerides and non-high-density lipoprotein cholesterol and the incidence of cardiovascular disease in an urban Japanese cohort	the Suita study. Atherosclerosis	209	290-294	2010
Harada K <u>Miyamoto Y</u> Morisaki H Ohta N Yamanaka I Kokubo Y Makino H Harada-Shiba M Okayama A Tomoike H Tomonori O Saito Y Yoshimasa Y Morisaki T	A novel Thr56Met mutation of the autosomal recessive hypercholesterolemia gene associated with hypercholesterolemia	J Atheroscler Thromb	17	131-140	2010
M Ogawa Y Harada Y Yamaoka K Fujita <u>H Yaku</u> T Takamatsu	Label-free biochemical imaging of heart tissue with high-speed spontaneous Raman microscopy	Biochemical and Biophysical Research Communications	382	370-374	2009
合志桂太郎 土井 潔 大川和成 夜久 均	PCI 後に発症した冠動脈仮性瘤に対する On-lay patch 冠動脈バイパス術の一例	循環制御	29	167-172	2009
<u>夜久 均</u>	虚血性心筋症に対して左室形成術は有効か？－ STICH trial をめぐる諸問題－	京都府立医科大学雑誌	119	237-245	2010
T Shimokawa S Manabe T Sawada S Matsuyama T Fukui <u>S Takanashi</u>	Intermediate-Term Patency of Saphenous Vein Graft With a Clampless Hand-Sewn Proximal Anstomosis Device After Off-pump Coronary Bypass Grafting	The Annals of Thoracic Surgery	1416-1420	87	2010
T Shimokawa S Manabe T Fukui <u>S Takanashi</u>	Remodeling of Reconstructed Left Anterior Descending Coronary Arteries With Internal Thoracic Artery Grafts	Ann Thorac Surg	54-58	88	2009

Muranaka H Marui A Tsukashita M Wang J Nakano J Ikeda T <u>Sakata R</u>	Prolonged mechanical unloading preserves myocardial contractility but impairs relaxation in rat heart of dilated cardiomyopathy accompanied by myocardial stiffness and apoptosis	J Thorac Cardiovasc Surg	140(4)	916-22	2010
Marui A Nishina T Saji Y Yamazaki K Shimamoto T Ikeda T <u>Sakata R</u>	Significance of left ventricular diastolic function on outcomes after surgical ventricular restoration	Ann Thorac Surg	89 (5)	1524-31	2010
Kubota K Otsuji Y Ueno T Koriyama C Levine RA <u>Sakata R</u> Tei C	Functional mitral stenosis after surgical annuloplasty for ischemic mitral regurgitation: Importance of subvalvular tethering in the mechanism and dynamic deterioration during exertion	J Thorac Cardiovasc Surg	140 (3)	617-23	2010
Kataoka T Hamasaki S Inoue K Yuasa T Tomita K Ishida S Ogawa M Saihara K Koriyama C Nobuyoshi M <u>Sakata R</u> Tei C	Left atrium volume index and pathological features of left atrial appendage as a predictor of failure in postoperative sinus conversion	Journal of Cardiology	55(2)	274-82	2010
Shimamoto T Marui A Nagata Y Sato M Saito N Takeda T Ueda M Ikeda T <u>Sakata R</u> Inoue K	A novel approach to prevent spinal cord ischemia: Inoue stent graft with a side branch of small caliber for the reconstruction of the artery of Adamkiewicz	J Thorac Cardiovasc Surg	139(3)	655-9	2010
Morishima M Marui A Yanagi S Nomura T Nakajima N Hyon SH Ikeda T <u>Sakata R</u>	Sustained release of vancomycin from a new biodegradable glue to prevent methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> graft infection	Interact Cardiovasc Thorac Surg	11(1)	52-5	2010

Saito N Shimamoto T Takeda T Marui A Kimura T Ikeda T <u>Sakata R</u>	Excimer Laser-assisted Retrieval of Günther Tulip Vena Cava Filters: A Pilot Study in a Canine Model	J Vasc Interv Radiol.	21(5)	719-24	2010
<u>Sakata R</u> Fujii Y Kuwano H	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2008: Annual Report by The Japanese Association for Thoracic Surgery	Gen Thorac Cardiovasc Surg	58(7)	356- 83	2010
Kohsaka S Kimura T Goto M Lee VV Elayda M Furukawa Y Fukushima M Komeda M <u>Sakata R</u> Willerson JT Wilson J Kita T	Difference in Patient Profiles and Outcomes in Japanese Versus American Patients Undergoing Coronary Revascularization (Collaborative Study by CREDO-Kyoto and the Texas Heart Institute Research Database)	Am J Cardiol	105(12)	1698-704	2010
<u>Minakata K</u> Yunoki T Yoshikawa E Katsu M Oda T Ujino K	Predictors of success in the modified maze procedure using radiofrequency devices	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals	19	33-8	2011
Yanagi S Matsumura K Marui A Morishima M Hyon SH Ikeda T <u>Sakata R</u>	Oral pretreatment with a green tea polyphenol for cardioprotection against ischemia-reperfusion injury in an isolated rat heart model	J Thorac Cardiovasc Surg	141 (2)	511-7	2011
Takeda T Shimamoto T Marui A Saito N Uehara K <u>Minakata K</u> Miwa S Nakajima N Ikeda T Hyon SH <u>Sakata R</u>	Topical application of a biodegradable disc with amiodarone for atrial fibrillation	Ann Thorac Surg	91(3)	734-9	2011

Yasuno S <u>Ueshima K</u> Oba K Fujimoto A Hirata M Ogihara T Saruta T Nakao K	Is pulse pressure a predictor of new-onset diabetes in high-risk hypertensive patients? A subanalysis of the candesartan antihypertensive survival evaluation in Japan (CASE-J) trial	Diabetes Care	33	1122-27	2010
Nakao K Hirata M Oba K Yasuno S <u>Ueshima K</u> Fujimoto A Ogihara T Saruta T	Role of diabetes and obesity in outcomes of the candesartan antihypertensive survival evaluation in Japan (CASE-J) trial	Hypertens Res	33	600-06	2010
Sato K <u>Sato T</u> Furuse J Kasugai H Konishi M Kosuge T Saito A Sasaki Y Takasaki K Okusaka T	Conundrum for randomized controlled trials: Experience from a small hepatocellular carcinoma trial.	J Clin Oncol	40	949-953	2010
Yamanaka K Hatano E Narita M Taura K Yasuchika K Nitta T Arizono S Isoda H Shibata T Ikai I <u>Sato T</u> Uemoto S	Comparative study of cisplatin and epirubicin in transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma	Hepatology Research	41	303- 309	2011
澤田麻衣子 三島康典 宮脇奈央 渡辺誠之 <u>有永康一</u> 赤須晃司 福永周司 青柳成明	17症例の大血管緊急手術後の抜管時間に関する因子について	ICU と CCU	34(2)	153-157	2010

Tomoeda H Ueda T Teshima H <u>Arinaga K</u> Tayama k Fukunaga S Aoyagi S	Postoperative left ventricular mass regression after aortic valve replacement for aortic stenosis	Ann Thorac Surg	89(3)	745-50	2010
熊谷和也 金一 向井田昌之 小山耕太郎 高橋信 佐藤陽子 岡林均	胸痛および失神を呈した若年者の大動脈炎症候群に対するOPCAB	胸部外科	63	466-469	2010
<u>Okamura Y</u>	Comparison of the waveforms of transit-time flowmetry and intraoperative fluorescenece imaging for assessing coronary artery bypass graft patency	Gen Thorac Cardiovasc Surg	59	14-8	2011
Fukui T Manabe S Shimokawa T <u>Takanashi S</u>	The Influence of Previous Percutaneous Coronary Intervention in Patients Undergoing Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting	Ann Thorac Cardiovasc Surg	16	99-104	2010
Manabe S Fukui T Shimokawa T Tabata M Katayama Y Morita S <u>Takanashi S</u>	Increased Graft Occlusion or String Sign in Composite Arterial Grafting for Mildly Stenosed Target Vessels	The Annals of Thoracic Surgery	89	683-88	2010
Fukui T Tabata M Manabe S Shimokawa T <u>Takanashi S</u>	Graft Selection and One-Year Patency Rates in Patients Undergoing Coronary Artery Bypass Grafting	The Annals of Thoracic Surgery	89	1901-5	2010
Fukui T Tabata M Manabe S Shimokawa T Morita S <u>Takanashi S</u>	Angiographic outcomes of right internal thoracic artery grafts in situ or as free grafts in coronary artery bypass grafting	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	139(4)	868-73	2010
高梨秀一郎 福井寿啓	びまん性冠動脈硬化病変の外科治療	心臓	42		2010

<u>Fukui T</u> <u>Takanashi S</u>	Gender Differences in Clinical and Angiographic Outcomes After Coronary Artery Bypass Surgery	Circulation Journal	74	2103-08	2010
Fukui T Tabata M Manabe S Shimokawa T Shimizu J Morita S <u>Takanashi S</u>	Off-pump bilateral internal thoracic artery grafting in patients with left main disease	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	140	1040-5	2010
Manabe S Fukui T Tabata m Shimokawa T Morita S <u>Takanashi S</u>	Arterial graft deterioration one year after coronary artery bypass grafting	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	1240	1306-11	2010
<u>種本和雄</u>	最近のエビデンスに基づいた冠動脈疾患の治療戦略	冠疾患誌	16	231-32	2010
<u>種本和雄</u>	Restrictive mitral annuloplasty for functional mitral regurgitation in patients with end-stage cardiomyopathy	Circulation Journal	75	538-39	2011
<u>Bando K</u>	Invited Commentary	Ann Thorac Surg	91	97-103	2011
<u>Bando K</u>	Importance of Multi-Disciplinary Approach in Diabetic patients Undergoing Coronary Revascularization	Circulation Journal	75	266-67	2011
<u>宮田茂樹</u>	心臓血管外科手術における輸血療法	医学のあゆみ	235 (1)	59-65	2010
<u>宮田茂樹</u>	心臓血管外科手術における輸血療法	図説臨床輸血ガイド		80-91	2011
Watanabe M Kokubo Y Higashiyama A Ono Y <u>Miyamoto Y</u> Okamura T	Serum 1,5-anhydro-d-glucitol levels predict first-ever cardiovascular disease: An 11-year population-based Cohort study in Japan the Suita study	Atherosclerosis			2011 [Epub ahead of Print]

<u>Yaku H</u> Doi K	Stroke in off-pump coronary artery bypass grafting	Ann Thorac Cardiovasc Surg	16 (4)	225-27	2010
夜久 均	虚血性心筋症に対して左室形成術は有効か?-STICH trialをめぐる諸問題-	京都府立医科大学 雜誌	119(4)	237-245	2010
土井潔 <u>夜久 均</u>	80歳以上の高齢者における冠動脈バイパス術	冠疾患誌	16	249-254	2010
土井 潔 <u>夜久 均</u>	Endocardial linear infarct exclusion technique (ELIRT)を用いた左室形成術 Dor手術との比較	冠疾患誌	16	197-201	2010
<u>Doi K</u> <u>Yaku H</u>	Importance of cerebral artery risk evaluation before off-pump coronary artery bypass grafting to avoid perioperative stroke	Eur J Cardiovasc Surg	38	568-572	2010